

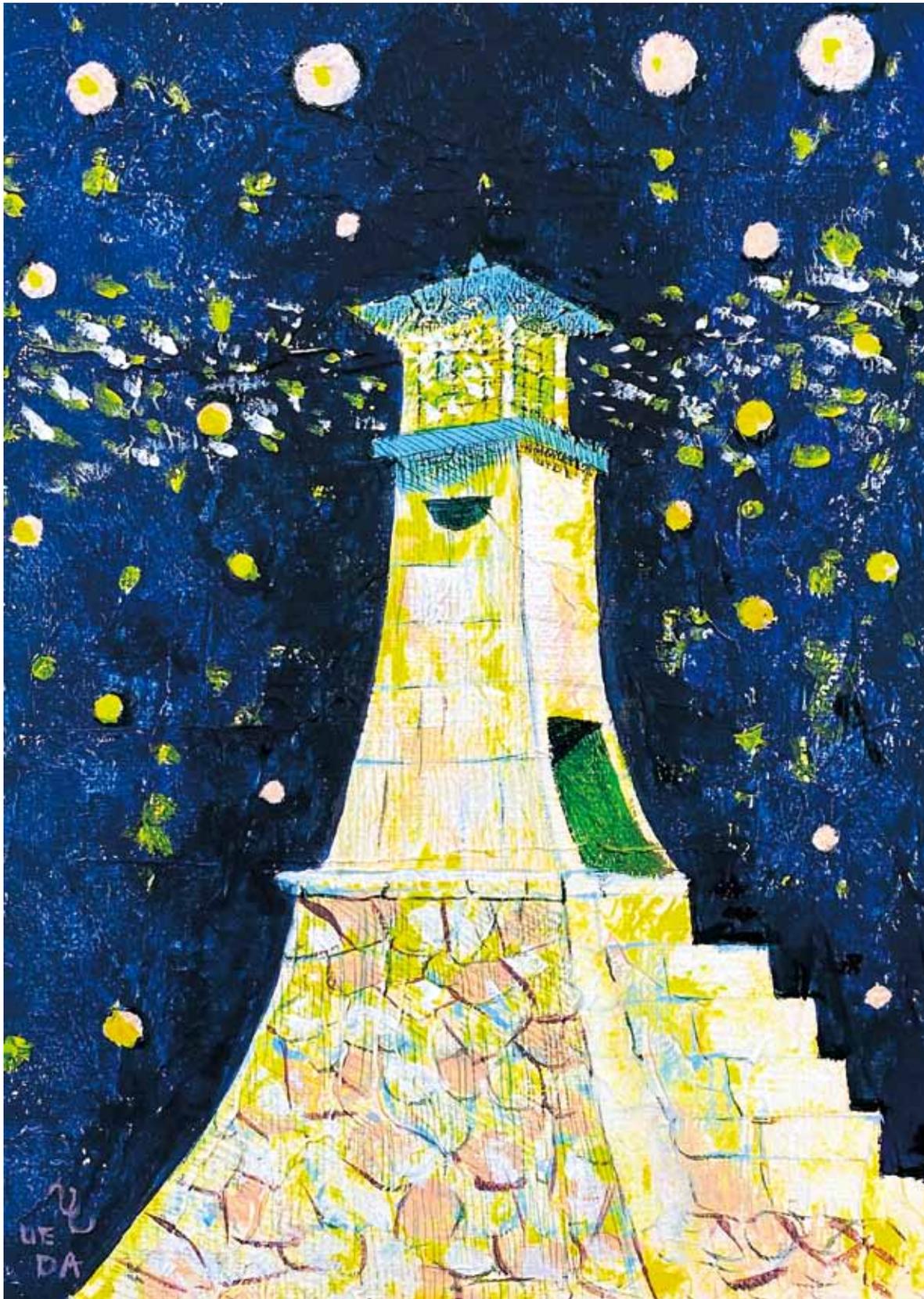
いしづち

2020.7

JULY

No.135

 公益社団法人 愛媛県建築士会
Ehime Society of Architects & Building Engineers
<http://www.ehime-shikai.com>



世界建築紀行 ガウデイ建築とバルセロナ
スマホで撮る 建築写真 広角レンズの樽型の歪み補正

1	世界建築紀行	ガウディ建築とバルセロナ	西予支部 松山 清……①
2	スマホで撮る建築写真	広角レンズの樽型の歪み補正	中村写真事務所 中村 誠二……⑤
3	委員会報告	文化財・まちづくり委員会より ” ”	文化財・まちづくり委員会委員長 峰岡 秀和……⑦ 委員 花岡 直樹……⑦
4	支部報告	今治支部総会報告及び計画 松山支部より 「令和2年度 西予支部総会」開催報告	今治支部長 森 昇平……⑩ 松山支部長 花岡 直樹……⑪ 西予支部長 水野 正一……⑫
5	けんちくの輪	神社と私 運動嫌いの趣味がマラソンになった訳と密かな目標	西条支部 汲田章太郎……⑬ 松山支部 亀井 浩二……⑭
6	お知らせ	第1回理事会概要報告 新広報委員紹介	事務局……⑮ 事務局……⑯

※尚、表紙及び本誌記事の無断転載を禁じます。



アクリル画

題：「萬安港旧灯台」上田 勇一
〔表紙画について〕

伊予市米湊 明治2年（1869年）
郡中港の防波堤の修築にあわせて、約70
メートルの石垣の先端に、それまで木造
であった灯台を石造に改築したものであ
る。大正元年（1911年）に現在地へ移築
された。

灯台には、「石工今岡仲次郎」の名が記さ
れ、熊野芳雄が有志と相談して石造にし
たことなどが刻まれている。

簡素ではあるが、明治初期からの近代建
築の雰囲気を感じさせる建造物である。

表紙作者 上田 勇一 プロフィール

- 1974 東京生まれ
- 1980 小学校から高校まで松山在住
- 1990 東日本建築教育研究会製図コンクールにて奨励賞
- 1991 愛媛県内高校生建築競技設計にて会長賞
（愛媛県建築士事務所協会主催）
- 1993 画家・高橋勉氏に師事。約10年間、古典絵画技法全般を学ぶ
- 1996 日本工業大学建築学科 卒業
- 1998 画家として活動開始する。東京や埼玉にて毎年個展開催
- 2002 日本ファンタジーノベル賞受賞作者「世界の果の庭」
（新潮社）の装丁担当
- 2003 美術家の登竜門である昭和会にて優秀賞（東京／日動画廊）
- 2010 愛媛県美術館に作品「ドライフラワー」收藏される
- 2015～17 愛媛新聞 冊子アクリート表紙画連載
絵画教室やオリジナルブランド額工房「榊リチエルカ」を設立
- 2017 「えひめの塗り絵」を出版
その他、出版装丁画や受賞多数、全国にて個展中心に活動。
現在、現代日本美術会 会員／審査員

1 バルセロナが産んだ“ガウディ建築”

2005年に“アントニ・ガウディの建築作品群”が世界遺産に登録され、それを見に世界中からさらに多くの観光客がバルセロナを訪れています。これらの作品が生まれた背景にはパトロンのエウゼビ・グエルの存在があり、グエルに依頼されたグエル邸、グエル公園、コロニア・グエル教会では、他には類を見ないガウディの才能が花開いた建築芸術の世界が広がっていました。それらが影響して、カサ・バトリョやカサ・ミラが誕生し、サグラダファミリアで集大成したと言えます。

バルセロナ市議会議員から上院議員も勤めたグエルは、父がキューバ滞在中に莫大な財産を築き裕福であったことから、巾広い文化活動を支援し、ガウディの生涯最大のパートナーであり後援者でした。

2 ガウディ建築探訪

①コロニア・グエル教会

ガウディの最高傑作と言われる作品にコロニア・グエル教会があります。コロニア・グエルは、バルセロナ郊外の繊維工場を中心とした工業団地で、その地域で働く労働者たちのためにグエルは住居や教会を造りました。そこまではエスパーニャ広場駅から電車で行き、街中を

散策して開館と合わせて教会の中へ入場。教会は未だ地下礼拝堂までの完成で建築は中断したままです。

ガウディは教会の“鍾の逆さ吊り実験”による計画作成に10年もかけただけあって、半地下部分の教会堂の



鍾の逆さ吊り実験

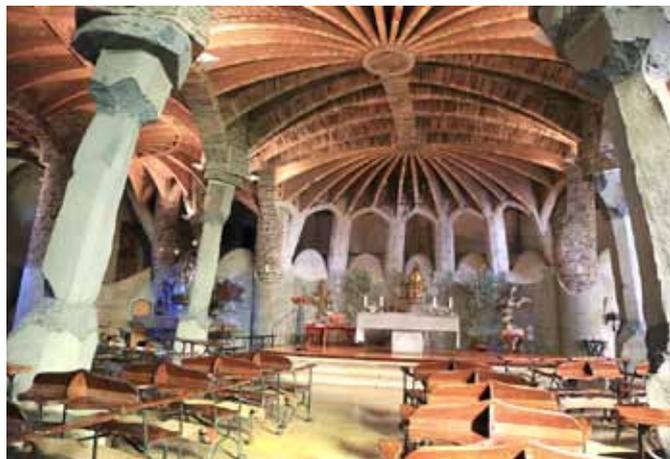


グエル教会完成模型

柱は、複雑な方向の造形美を持っていて、中に入った者を驚かせます。完成予想模型を見ているとこの教会が竣工していれば、世界で唯一の表情を持った教会芸術になったのと思います。礼拝堂の椅子はガウディがデザインしたオリジナルの独特な形をしたもので、神秘的な空間によく融合していました。



礼拝堂の椅子



コロニア・グエル教会の地下礼拝堂



グエル教会の半地下外壁

②グエル公園

世界遺産グエル公園は市内北部のバルセロナ市街を一望する小高いエリアにあり、グエルとガウディが理想の分譲住宅を造ろうとしたが市民に受け入れられず失敗し、現在の公園となりました。市民の憩いの場のような所で今ならばすぐに完売と思いますが、歴史的芸術が残されたことは幸いです。入場券は日本で手配していたので、待ち時間も無く入ることができました。ここでの見所は、ガウディが再利用の破砕タイルを使って作った階段のオオトカゲとタイル張り波状ベンチ、アーチの道路などで、多くのガウディ・ファンが集まっていました。



タイル張りのオオトカゲ



波状ベンチ

③グラシア通りのカサ・ミラとカサ・バトリョ



"石切場"と揶揄されるカサ・ミラ



ローマ兵士のような屋上煙突

20世紀の頭のバルセロナ拡張地域の中心部グラシア通りにカサ・ミラとカサ・バトリョがあります。カサ・ミラへは朝早く行きましたが、すでに多くの観光客が集まって入場を待っていました。その正面には、"La Pedrera"という看板があり自ら「ここは石切場だ」と主張しています。ガウディ円熟期の作品で、ファサードは直線を排除して海に波が立っているイメージ。屋上の煙突は巨人の峰のようで、受難のファサードのローマ兵士を思い起こさせます。



カサ・バトリヨ

カサ・バトリヨは、施主がグエルからガウディの評判を得て依頼したもので、地中海をテーマとして地下1階と地上5階を増改築したものです。骸骨のような窓と室内木製装飾にガウディらしさを感じられ、人気を集めていました。

内外装共色とりどりのガラスモザイクが用いられ、2階のサロンにはスタンドグラスが使われ木製装飾と上手くコラボしています。



2階サロンの木製建具

■グエル邸

ランブラス通りに近いグエル邸は、ガウディ初期の代表作です。ガウディは自分の能力すべてをこのファサードデザインに傾け20枚以上の案を提示したそうです。吹抜にはパイプオルガンがあるなど、賓客をもてなすのにグエルの期待に応え、これにより信頼を獲得します。



放物線のグエル邸玄関



タイル張りの屋上換気塔

3 バルセロナ市内散策

モダニズム建築の中で最も美しいと言われるモンタネールの最高傑作カタルーニャ音楽堂は、是非とも見たかったので、夜フラメンコ観賞の際に訪れました。開演も9時以降と遅く、習慣の違いを感じました。



カタルーニャ音楽堂



大ホールの華麗な天井装飾

モンジェイクの丘の麓にミース・ファンデル・ローエ記念館がありました。1922年の万国博覧会にパビリオンとして建設されたもので、ファンズワース邸のようなガラス張りの工業デザイン住宅の提案。当時の住宅としてはかなり衝撃的かつ先進的なものです。



ミース・ファンデル・ローエ記念館



全面ガラスのリビング

バルセロナにはガウディの時代の歴史に残る芸術的建築作品が他にもたくさんありました。その素晴らしさから感じたのは、大航海時代からの経済的世界支配でもたらされた豊かな社会と、鎖国を続けてきた歴史をもつ日本との違いです。バルセロナでは大富豪はより豪華で格調ある建築を目指し建物に投資をしました。そのお陰で活気と躍動のある町並みが美しく整備され、世界の注目の的となっています。2026年大聖堂完成により、ガウディの残した精神が、時代を超えて蘇ります。 <完>

【お詫びと訂正・追加】

5月号「世界建築紀行1 ガウディ建築とバルセロナ」にて次の誤りがございました。
P2③ 誤「生誕のファサードと新約聖書」→正「生誕のファサードの塔」

みなさんこんにちは！前号ではiPhone11がオススメと書きました。

確かにこの画角は魅力的で私達が仕事で使う超広角レンズに近いものがありますが、実はそのままでは大きく樽型に歪んでしまいます。

これは歪曲収差というレンズ自体の収差で、通常安価なレンズほど多く発生します。今号では撮影の仕方とを考えていましたが、この歪みの補正ができない限り前に進むことができないと考え、今回も歪み補正作業を中心にレクチャーしたいと思います。

補正カンタン
オススメアプリ



SKRWT



上下すばまりを補正できるアプリは純正も含めいろいろありますが、樽型や糸巻き型（望遠レンズで発生）を補正できるアプリは私が調べたところ3種類しかありませんでした。すべてのアプリを実際に使用し、金額や使い勝手、手軽さなどを検証して選んだのが「SKRWT」というアプリです。有料ですが250円と安価なので是非入れておいていただければと思います。

SKRWT の 使い方

1



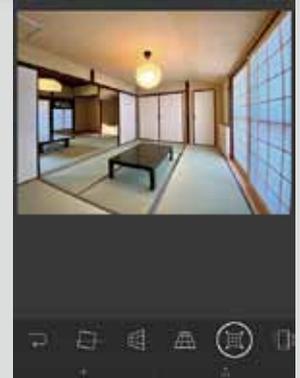
起動したら
SKRWTをタップ

2



カメラロールから写真
を選んだら右下のイン
ポートをタップ

3



糸巻き型のアイコンを
タップ

SKRWTは歪みの補正に特化されているため明るさや色調、コントラストなどの補正ができません。これらの補正が必要な場合はiPhone標準の写真アプリまたはセミナーで紹介しましたSnapseedを併せてお使いいただくことをオススメします。

Snapseed とは？

さて次号以降では実際の撮影方法をレクチャーしたいと思います。



表題のテーマで一年間連載を担当させていただくことになりましたカメラマンの中村と申します。まずは自己紹介をと思いましたが、文字数に限りがありますので、もし私にご興味のある奇抜な方がいらっしやいましたら右上のQRコードからHPをご覧ください。

もしわかりにくい場合は実際の補正作業をiPhoneの画面収録機能を使って録画したものをYouTubeにアップしていますのでご覧ください。

補正のタイプは使用するカメラ(レンズ)に合わせてモバイル、ワイド、魚眼、GOPROとありますが、トリミングでカットされる割合が少ないGOPROがいいでしょう。
(なんでiPhoneがないんだ?)

SKRWT 補正作業動画



※なお、今回事例に使った写真はAYA設計の武知さんに撮影依頼をいただいた際にこっそり(笑)スマホで撮影したものです。(もちろん掲載許可はいただいています)

4



スライダーを左右にスワイプすると樽型や糸巻き型の歪みを補正できます。方眼や画面の端を利用して歪みを補正します。

5



できたら右下のアイコンをタップ

6



「ギャラリーに保存する」でカメラロールに保存されます。

SnapseedはGoogleが提供しているアプリでレンズの歪曲収差の補正以外のほとんどのことができる超オススメのアプリです。無料ですのでこちらもぜひ入れておいてください。

補正カンタンオススメアプリ Snapseed



アプリ



作業動画



スマホで撮影する際にいちばん大事なことは1に「アングル」、2に「いかに後処理を少なく済むように撮るか」です。特に2はこれで最終的な画質が変わってきます。おもにサードパーティ製アプリを使った撮影方法を伝授いたします。お楽しみに！

文化財・まちづくり委員会より

文化財・まちづくり委員会 委員長 峰岡 秀和
委員 花岡 直樹

1. 委員長就任時の挨拶（峰岡）

このたび文化財・まちづくり委員会の委員長を拝命いたしました、前副委員長の峰岡秀和です。まだまだ勉強不足、力不足の私ですが、委員の皆さんと力を合わせ、これまでと同様委員会を盛り上げることができればと考えています。

12年前、2008年の興願寺三重塔の調査からオブザーバーとして参加させていただき、2010年、章光堂（旧制松山高等学校講堂）の調査が委員として初めての調査で、山下委員から激励していただいた事を昨日のように覚えています。今後、花岡委員長の後を引き継いでゆくこととなりますが、初心を忘れず頑張るつもりです。

さて、これまで文化財・まちづくり委員会は文化財の調査・報告が主な活動内容でした。一冊の本として出版され、非常に高い評価をいただきました。ですが、これまで「まちづくり」の活動ができていないのは残念に思うところでした。

現在、連合会でのまちづくり委員会は①「防災まちづくり部会」②「歴史まちづくり部会」③「景観まちづくり部会」④「街中（空き家）まちづくり部会」⑤「福祉まちづくり部会」の5つの部会に分かれて活動しています。年に一度、全国まちづくり委員長会議（まちづくり会議）、中四国まちづくり委員長会議が行われており、各県様々な活動、意見交換がなされています。そのなかで愛媛県は「歴史まちづくり」が盛んに活動をしている状況です。

今後は、まちづくり委員会として5部会で様々な活動ができるようにしてゆきたいと考えています。また委員だけの活動にとどまらず、土会全体で様々な意見交換がなされ、活動的な委員会となるよう努力してゆきますのでご協力をよろしくお願いいたします。

2. 委員長退任の挨拶とお礼（花岡）

思い起こせば35年前の昭和60年、全国的にも珍しい「文化財調査委員会（平成16年に「文化財委員会」に改名）」に、初代河合勤委員長の事務所に勤務していたことから、発足当初から参加させていただきました。平成

11年度からは、2代目の犬伏武彦委員長のもと、副委員長という立場で愛媛県下の多くの文化財の発掘・紹介を手掛けてきました。参加当初26歳だった私には古建築・文化財の知識もほとんどなく、古い建築のよささえわからないままの参加でしたが、35年間の活動を通して、いろいろな知識を得たばかりでなく、古い建物の良さを感じるようになり、それらを次世代に引き継がねば、と思うようになったのは非常に大きな収穫だったと思います。



浄土寺（小野市）右から2人目が河合初代委員長（1991年11月）



庚申庵での市民講座 左寄りが犬伏前委員長（2003年4月）

その後の平成20年度には、別々に活動していた「まちづくり委員会」と合併した形で「文化財・まちづくり委員会」が誕生し、私が委員長を担当することになりました。大きな功績を残されたお二人の後任ということで、プレッシャーはとても大きなものでした。委員も各支部長から推薦された方々で構成され人数も多く、これまで

まちづくり中心で活動されてきた方もいて、私でまとめられるかどうか不安でしたが、「文化財を活かしたまちづくり」を目標に掲げ、12年間頑張ってきました。心がけたことは、せっかく建築士が調査するので、なるべく詳細な図面を作成すること、報告文も手分けして書いていただき、文章で発表する力を皆さんにつけていただくことでした。現在まで、若松・峰岡副委員長をはじめとして、多くの若い方々が成長してきてくださっていることはとても嬉しいことです。

また、委員以外の会員や、会員以外の多くの方々にも古建築の良さを分かっていたらこうと、平成28年度から3か年にわたって行われた歴史的建造物保全活用に係る専門家（ヘリテージマネージャー）養成講座の開催と運営に協力し、委員の中から多く講師も務めました。3年間で約70名の方に受講いただき、令和元年度は全国でも先駆けて（10府県）、ヘリテージマネージャースキルアップ講座も開催しました。また、これまでの活動報告をまとめた「愛媛の古建築を訪ねて」を発刊し、後述の賞をいただいたことも大きな成果でした。



「愛媛の古建築を訪ねて」が愛媛新聞出版文化賞をいただく

しかし、文化財部門については充実した活動ができたと思う反面、まちづくり部門についてはとても手薄だったと反省しきりです。平成28年度に連合会の発案により、まちづくり委員会に下記の5つの活動部会（防災、歴史、景観、街中（空き家）、福祉）が置かれ、地域リーダーを定めるように全国の単位建築士会に指示が出されました。愛媛県の場合、文化財・まちづくり委員会の委員で

組織することは無理と考え、とりあえずリーダーを選任し連合会に通知しましたが、その後これまで、具体的な活動は行われていませんでした。

1月31日・2月1日に行われた「全国まちづくり大会・まちづくり委員長会議」に、私に所用があったこともあり、峰岡・若松両副委員長と久保委員に参加していただきましたが、帰ってくるなり3人から「まちづくり部門でも、もっと積極的な活動を！」との声が上がりました。この3人に若手委員も引っ張ってもらい、「文化財」・「まちづくり」の両部門にわたって積極的な活動をしていただこうと思ひ、委員長を降りさせていただくこととしました。私を育ててもらった、といっても過言ではない委員会ですので、思い入れは誰よりも強いつもりです。一委員として残って、若手の活動を支えていきたいと思ひます（できるだけ余計なことは言わないように……）。これまで長い間ありがとうございました。

3. 動報告・計画

<令和元年度の活動報告（花岡）>

全体会議

（1）委員会会議と研修

昨年度の事業報告、今年度事業計画の検討と担当者の決定、研修会として重要文化財萬翠荘車寄せ防水工事について報告：令和元年7月5日（金）実施、12名参加

委員会活動

（1）古建築調査

- ・旧新谷藩屋敷・團上家（大洲市新谷）：令和元年8月31日（土）実施、9名参加、いしづちNo.131で報告
- ・稲茎神社（四国中央市新宮町上山）：令和2年1月25日（土）実施、いしづちNo.134で報告

（2）古建築の見学会（研修旅行）

- ・委員の知識の向上と親睦を図り、8月実施予定の中四国ブロックまちづくり委員長会議の下見と予行演習を兼ねて内子町にて実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（3）ヘリテージマネージャー育成講座修了者対象スキルアップ講座実施の運営協力、講師担当、いしづちNo.133で報告

- ・第2回：令和元年9月7日、萬翠荘（松山市）
講師：花岡
- ・第3回：10月12日、末光家（西予市宇和町）
講師：酒井
- ・第4回：11月9日、林業会館
外部講師：胡、梅津
- ・第5回：11月16日、大洲商工会議所
外部講師：文建協 前堀
- ・第6回：令和2年1月18日、松山城
講師：花岡

(4) 冊子販売促進

- ・平成30年10月発刊の冊子「愛媛の古建築を訪ねて」の販売促進に協力した。（備考：令和元年6月に、都市計画法・建築基準法制定100周年記念式典にて国土交通大臣表彰を、令和2年1月に、第35回愛媛出版文化賞部門賞（第4部門）を受賞）

(5) 全国まちづくり会議

- ・まちづくり会議（東京都）：令和2年1月31日・2月1日、3名参加、いしづちNo.134で報告

(6) その他の会議、セッションへの参加

- ・第4回中四国まちづくり委員長会議、令和元年7月13日、美保館本館（島根県松江市美保関町）、花岡委員長、峰岡副委員長、いしづちNo.130で報告

<令和2年度の活動計画（峰岡）>

・5部会での活動へ

まちづくり委員長会議や中四国まちづくり委員長会議へ出席し、全国のさまざまな報告や意見交換をするにあたって、愛媛県でのまちづくり委員会の活動が歴史まちづくりだけであるのはもったいないと感じました。

また、平成30年7月豪雨災害では「防災まちづくり」として何かできたのではないかと反省しておりますし、文化財防災フォーラムに参加させていただいて、意見交換をさせていただきましたが、建築士会として目立った活動報告ができなかったのも残念に思っています。

また、平成28年より発足したヘリテージマネージャーも主だった活動の場が持てない状況です。このような状況をどうにかしてゆくために、文化財メインの文化財・

まちづくり委員会ではなく、連合会におけるまちづくり委員会の分類で分け、それぞれが独自に、また協力し合える体制をもって掘り下げてゆくことが必要と考えています。そうすることにより、東中南予での問題やニーズも分かりやすくなりますし、愛媛県の独自性も明らかになります。また、それぞれに部会長を定め、後見人を定めることにより、知識を深め、委員や若い建築士をバックアップしていただける体制を整えてゆきます。協力員を募ることにより厚みのある部会にしてゆきたいと思いません。

・本年度5まちづくり部会活動内容（案）

活動内容は部会での話し合いにより決定してゆきますが、現在このような内容を基に話し合いができればと思っています

①防災まちづくり部会

防災マップの作成、パンフレットの作成、罹災時の協力体制について、耐震設計施工ガイドラインの作成

②歴史・まちづくり部会

使用材における勉強会、未指定文化財調査、市民講座ヘリテージマネージャーとの連携

③景観まちづくり部会

えひめ景観計画策定ガイドラインにおける勉強会手法・知識の習得

④街中（空き家）まちづくり部会

愛媛県での現状把握、空き家マニュアル（徳島県）の勉強会、連合会における空き家活用研修

⑤福祉まちづくり部会

観光地福祉マップの作成、補助金・事業のまとめ（設計ガイドライン）

これから成長してゆく委員会です。みなさんの様々な意見を聞きながら建築士会でできることを考え、調整していきたいと思っています。ご協力よろしく願いいたします。

今治支部総会報告及び計画

今治支部 支部長 森 昇平

日 時：令和2年5月25日(月) 10:00～
場 所：マルマストリグ株式会社 本社3階会議室
出席者数：6名

今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴う予防対策として、懇親会の中止や規模の縮小、急遽の会場変更など、今年は前例のない形での総会開催となりました。出席者(6名)及び委任状(83名)が正会員(138名)の3分の1以上となり、以下の全ての議事につきまして過半数以上の同意により承認されました。

議 事

- | | |
|------------|-----------------|
| (1) 平成31年度 | 実施済事業報告 (第1号報告) |
| (2) | 決算報告 (第2号報告) |
| (3) | 監査報告 (第3号報告) |
| (4) 令和2年度 | 役員改選 (第1号議案) |
| (5) | 事業計画案審議 (第2号議案) |
| (6) | 予算案審議 (第3号議案) |

以上

上記議事の内、(5)第2号議案の審議についてですが、昨年度、今治支部では以下の事業を行いました。

地域実践活動

・建築士の日の行事(清掃奉仕活動)

今治市波止浜の沖合に浮かぶ小島の海岸ならびに砲台跡清掃ボランティアを初の試みとして、実施し13名が参加しました。

清掃後は、バーベキューを行い、参加者の親睦を深めました。(2019.11、いしづち掲載)

・住育事業(おかしなまちをつくろう!)

昨年度も12月にみなと交流センター「はーぱりー」にて実施し、児童63名・保護者約30名・スタッフ13名が参加しました。

着実に地元で認知されてきているイベントで、大変盛況でした。(2020.3、いしづち掲載)

スキルアップ事業

・建築視察研修会

今治建築事務所クラブと合同で、昨年11月に岡山・広島方面にて建築視察研修会を行い、13名が参加しました。

安藤忠雄設計のおかやま信用金庫や福山市鞆の浦の後山山荘などを視察し、倉敷にて「建築家浦部鎮太郎の仕事展」を見学しました。

後山山荘は、施主から相談を受けた前田圭介が、廃屋となっていた藤井厚二設計の鞆別荘の残された

サンルームを復元し、残された部材を活用し、藤井厚二の設計思想を受け継ぎながらリノベーションした別荘です。幸運にも、視察時にオーナー自ら案内していただき、建物に対する思いをお聞きすることができました。



後山山荘にて記念撮影

事業計画として本年度も昨年度と同等の計画としましたが、新型コロナウイルスの終息まではまだまだ見通しが立たない中で、本年度は支部活動においても困難が予想されます。可決いただきました本年度事業計画につきましても、状況を見ながら臨機応変に対応していくことが必要かと思われます。第2号議案においても参加者から、様々な状況下でのイベントの実施の可否や方法、代替案などについてさまざまな意見が出され、今後、各委員会でオンライン会議にて詳細を検討することとしました。

最後に、この度の異例のお願いによる総会開催にご協力いただきました、支部会員・支部賛助会員の皆様、そして急遽の会場変更にご協力いただきましたマルマストリグ株式会社様、ありがとうございました。

松山支部より

松山支部 支部長 花岡 直樹

4月17日に開催された松山支部の通常総会において支部長に選任されました。これまで約35年にわたってお世話になってきましたが、士会での活動の中心は文化財・まちづくり委員としてのものでした。愛媛県建築士会全体の約40%の会員を擁する一大支部を引っ張っていける政治的、運営的な能力には事欠くかもしれませんが、役員や会員の皆様のお力をお借りしながら頑張ってみたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

一番大切だと思っていることは「人材育成」です。特に若い方々の……。私一人が頑張ってみたとところで、活動が活発になるわけではありません。一人でも多くの方に参加していただけるように、たくさんの意見をいただき協議しながら、皆さんが活動しやすい土俵を整えるのが私の仕事と思って頑張っていきたいと思っています。

とはいうものの、新型コロナウイルス感染防止のため、様々な活動を自粛しなければならない状態の中でのスタートとなってしまいました。総会後の賛助会員の方を招いての懇親会も中止、例年7月に開催する「建築士の日行事」や「夏の支部会員の集い」も開催が危ぶまれています。収束を待ってじっと耐え、世間の情勢を鑑みながら徐々に本来の活動に戻せるといいなと思っています。

みんなで集まることができませんので、当面はこころばらく有効に使われていなかった支部のホームページを改修し、多くの会員の皆さんに情報発信し、会員相互の情報交換ができるようにしようと、小委員会を立ち上げて取り組みを始めたところです。整備が叶ったらぜひ活用いただきたいと思っています。

以下、昨年度の活動の概要と、通常総会の報告をさせていただきます。

<2019年度の活動報告(抜粋)>

- **支部通常総会**：2019年4月19日、伊予鉄会館にて開催。56名が参加、総会后賛助会員の方々を加えて、懇親会を開催しました。
- **「建築士の日」の行事**：8月3日、古川集会所にて開催。これまで10回にわたって一般市民を対象に市内や周辺の古建築・現代建築を巡る「建築巡礼inまつやま」を行ってきましたが、心機一転「家づくり体験」と題して、小学生の子供たちに家の模型を作る体験をしていただきました。会員13名の参加に加えて児童18名、保護者18名の参加を得て、初回ながら成功を収めました。
- **第62回建築士会全国大会(北海道大会)**：9月21日、函館アリーナ、本会ツアーに支部会員21名が参加。北の地方での開催ということで例年より早い9月に開催されました。テーマは「明日(みらい)のまちに輝きを」でしたが、ツアー全体での行動だったため、大会への参加は式典と大懇親会だけとなつ



家づくり体験の様子

たことが少し残念でした。

- **地区対抗ボーリング大会・懇親会**：10月26日、キスケボウル・北斗駅前店、26名が参加。優勝は東地区。懇親会場が近くだったこともあり、大勢の参加で盛り上がりました。
- **会議**：常任理事会を3回、理事会を2回、各委員長・地区別代表会議を3回開催しました。
- **その他**：武内前支部長のもと、行政及び関係団体会議等への参加、講習会・研修会等の開催など、活発な活動を行うことができました。
- **会員数**：3月31日現在、正会員533名、準会員66名、賛助会員100社となっています。支部活動を活発に行うためにも、会員増強(特に若手!)に努めていきたいと思っています。

<支部総会の報告>

今年の総会は新型コロナウイルス感染予防のための自粛ムードの中で、当初予定されていた伊予鉄会館も閉館となってしまい、会場を松山建設会館へ急遽変更しての開催となりました。参加者全員の体温測定を行い、マスク着用の上、長テーブルに一人という異例の配置で、物々しい感じの中、会議が進められました。以下議事録の一部を添付します。

1. **日時**：令和2年4月17日(金) 18:00~19:00
2. **場所**：松山建設会館 2階 会議室
3. **出席者**：28名
4. **黙禱**：物故者 1名
5. **開会**

◎井上副支部長事より、松山支部正会員533名中、出席368名(委任状含む)で、本総会は支部規約第15条第1項に定める定足数の3分の1以上が出席しており、成立している旨の報告をした。

続いて、支部規約第9条第1項の規定により、武内支部長が議長となり審議を進めた。

6. 議事

第1号議案 2019年度事業報告の承認について<議決>

第2号議案 2019年度収支決算の承認について<議決>

徳永監事(代理 武内支部長)より監査報告を行った。

◆議長より、第1号議案、第2号議案について諮ったところ、異議なく議決された。

ここで役員改選のため、小原副支部長を仮議長に選任した。

第3号議案 令和2・3年度役員承認について<承認>

2月12日開催の役員選出委員会にて先行され、第1回理事会で承認された名簿を提示し説明を行う。

(総会資料9・10頁)

◆仮議長より、第3号議案について諮ったところ、異議なく承認された。

武内支部長が退任のあいさつを行った。

花岡新支部長が新任の挨拶、新役員の紹介を行った。(敬称略)

副支部長：井上 竜治、小原 文子、安藤 雅人(新任)、松平 定真(新任)

常任理事：大西 勝秀、大塚 美由紀(新任)、長岡 康広(新任)、武内 邦彦(新任)

理事：河野 行信(新任)、高須賀 範昌(新任)、以下26名(再任)

監事：徳永 栄一、佐々木 幸子

花岡支部長が新しい議長となり、審議を進めた。

第4号議案 令和2年度の事業計画決定について<議決>

第5号議案 令和2年度の収支予算の決定について<議決>

第6号議案 その他

特になし。

以上、議案の審議等を19:00に終了した。

このあと功労者表彰および感謝状贈呈を行った。

功労者表彰：水口喜久美氏、渡邊道彦氏

感謝状贈呈：該当者なし



総会の様子



功労者表彰の様子

「令和2年度 西予支部総会」開催報告

西予支部 支部長 水野 正一

6月22日(金)18:00より、宇和町“富士酒屋”において、「令和2年度 支部総会」を開催しました。

「新型コロナウイルス感染」が懸念される中の開催となりました。

西予市では、1名の感染者が出ましたが、幸いにして、他者への感染はありませんでした。とは言え、この時期ですので、代表役員での開催としました。

今年度の活動は、全国大会参加を含めて、社会動向を見ての判断になるだろう、という事になりました。又、役員改選も合わせて行いました。

閉会後の懇親会も、参加役員の内6名で行いました。懇親会というよりも、“軽い夕食会”程度になりましたが…。

話題としては、やはり【コロナ禍】関連の話になった

ようでした。

早い終息を、切に望みます。



神社と私

西条支部 汲田 章太郎

この度、松山支部の白石さんからバトンを受け取りました西条支部の汲田と申します。

元来、文章の作成が苦手なもので、このバトンを受け取った日から何を書けばよいのかと悩んでおりましたところ、コロナ騒動で外出の自粛とのことで、ステイホームと盛んに呼びかけが行われていました。メディアやSNS等でおうち時間を楽しむ方法などが紹介されるのを、何とはなしに眺めつつ、ふと時間もあるし普段しないことをしてみようかなと、パソコンに保存だけしていたデジカメのデータ整理をしていたところ、過去10年分の旅行に行ったものが出てきたため、懐かしく思えました。

さてと、写真の中身を整理しつつ、どこに行ってもどんなものを撮っていたのか思い出しながらその中身を見ていました。古民家や旅館、高層ビルなど身近になく面白いと思った意匠の写真も多いのですが、神社の写真がほぼどの旅行でもありました。ちょうど、この原稿のこともあり、なぜだろうかと自分の場合を考えたことを書いてみようかと思えます。

幼少のころは、神社といえば地元の夏祭りや初詣のイ

バントへ行く明るくも不気味で、(特に夏祭りは、夜+絵金の屏風が出ていたので) 非日常を体験できる程度の場合としての認識でした。

その後、学生として地元を離れたときに、地元神社に初詣に行かないことが思ったより心に引っかかることがわかり、なんとは無く毎年行こうかなと思うようになりました。また、学校の授業で神社の造りについて習ったので、どのようなタイプか旅行のついでにあれば行ってみようかくらいの軽いノリでした。

それが、徐々に旅行先での安心の為、地域柄や歴史を感じる為、現地の神社に寄るようになったのは、おそらく古くから姿を変えずにいる建物が凄いいことであると考えられるような年齢になってきたのではないかと思います。

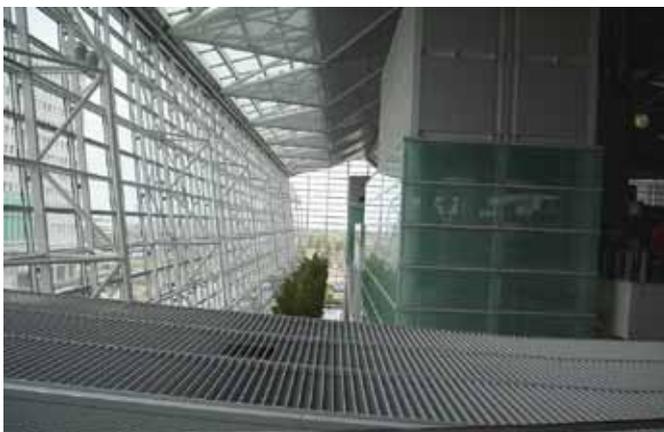


出雲大社 (島根：2018年)

その凄さとは、改修等により何百年と創建と同じ場所で、同じ姿を保とうとしようとする代々の意思であったり、それを可能とする伝統技術や図面の継承を保ち続ける社会の余裕であったり、また、その神社にいつでも行ける現代の交通技術、その基盤となるさまざまな技術の発展を支える膨大な知識の蓄積など、その背後には想像を超えるようなものがある、と少しは感じるようになってきたのかとも考えています。

以上、つらつらと考えてみたことを書いてきたのですが、別に四六時中こんなことを考えているわけでもありません。たまに誰もいなさそうな時間を見計らっていく場所ではあるので、行ったほうがいいのかなどとは言えませんが、過去からの技術の蓄積の上に建つ現代の建築も面白いですし、その当時の最先端であろう過去のままの技術で建てられる建物もそれぞれ味があるので、たまにはその背後にあるものを考えてみるよい機会でした。

次号は、西条支部の佐藤尚武氏につなぎたいと思います。



セントレア空港 (愛知：2009年)



内宮 (伊勢：2009年)

運動嫌いの趣味が マラソンになった訳と密かな目標

松山支部 亀井 浩二

今テレワークや外出自粛等による運動不足が生活習慣病リスクの増加につながる事が心配され、様々なところで体力維持法やトレーニング法が紹介されていますね。

私はもともと運動嫌いだったのですが、少し前から運動するようになり、効果をかなり実感しています。運動不足を感じているけれど、好きではないという方の参考になればと思います。

運動を始める前は、検査等で現場に行った際の動きの悪さや、新しいことが億劫になっている事を感じていましたが、解消されたように思います。肩こりや健康診断結果なども改善されました。また、運動とは別ですが、事故で入院した際に体を自由に動かせる事の大事さを思い知らされました。

やり始めるには、気持ちのスイッチを入れるきっかけが必要だと思います。自分で直接体験したことが一番だとは思いますが、一例として私の体験談です。

私は、個人の設計事務所を営んでいます。日々の多くを事務所のパソコンの前で過ごしています。ちょっとソコまでもバイクで、少し離れると車で移動と1日の歩数が1000歩台の事も多々ありました。

そんな中で10年位前に久々に乗った体重計の目盛りと脳年齢テストの結果が大きな動機となりました。

しかし、私は子供の頃から運動は好きではありませんでしたので、ランニングや水泳をやろうとは思いませんでした。そこで長く車庫の中で眠っていたマウンテンバイクに乗り始めました（メカは好きだったのです）。

最初はなかなか長く乗ることが出来ず、松山市内（約18km）まで行けるようになるまで結構時間が掛かりました。ただ少しずつでも続けていけるのは自転車の良い所だと思います。

長く乗れるようになってくると、食べ物や温泉などを目的に出かけるようになりました。しかし仕事の都合やモチベーションの問題で年間を通じて続ける事はなかなかできません。それでも体重や体脂肪率はかなり減ってきました。きっかけとなった時の体重が79.9kgで体脂肪率は23%位だったと思いますが、増減を繰り返しながら3年位かけて65kg、16%くらいになりました。これらの数字を見ることも継続する事に役立つと思います。

そしてもう一つのきっかけが、この頃に愛媛マラソンが地元の北条を走るコースに変更された事です。応援に出かけて知人が走るのを見ていて、当初は何とも思っていなかったのですが、何度か見ているうちに一度くらいは走ってみても良いかなという気持ちが出てきていた

ようです。現場を見ることの影響は大きいと思います。

インターネットのお仲間エントリーの手続きを頼まれた際に一緒に参加しました（この時はまだ先着順で運よくエントリー出来れば走ろうという位でした）。

この頃自転車では、12時間位走る事はしていたので大丈夫かなと安易に考えていたのですが、なかなか大変でした。自転車には乗っていましたが、歩く・走るという事はほとんどしていなかったのです。とりあえず歩くことから始めて少し走ってみるとすぐに息が切れしました。

この時は、マラソンの申し込みがお仲間エントリーになっていたのが良かったと思っています。自分だけリタイアになりたくないという事が練習を続ける理由の一つになっていました。練習の時は走るのが楽しいとは思えなかったし、ゴール後や翌日は尋常でない体の痛みがありました。それでも、終盤に調子よく走れた事で良いイメージで初マラソンを完走できました。この事でランニングに対する考えが良い方向に変わったと思います。

その後、徐々に運動をする事に抵抗が少なくなり趣味を聞かれた時に「マラソン」「自転車」を初めに答えるようになりました。

出張などの機会はあまり無いのですが、宿泊を伴う行事に出かけた時に周辺をジョギングする事も楽しみになりました。写真は2019年10月、復興中の熊本城です。



今の目標は、入院した後出来ていないフルマラソンです。体型の方は結構変動しています。この文を書いている今は、体重69kg、体脂肪率13%くらいです。もう少し筋肉が欲しいかなと思っています。マラソンには不利になりそうですが。

また、最近はランニングウォッチのデータを使ってフィットネス年齢を計算してくれます。今のところ30~38歳なので、これを20歳台にする事が密かな目標です。

新広報委員紹介



赤松 慶隆

支 部▶松山支部 **勤務先**▶アカマツ(株)

ひとこと

今年度から広報委員に参加させていただくことになりました。
まだ慣れませんが、新しいことにもどんどんチャレンジしていきたいと思
います。広報委員も父親も新米ですが頑張ります。よろしくお願いします。

門屋 広一

支 部▶松山支部 **勤務先**▶門屋建築工房

ひとこと

建築士会に入会して初めての委員会活動になります。
既成概念にとらわれることなく、そして建築士会を盛り上げるために積極
的に取り組んでいきたいと思います。



西森 勉

支 部▶松山支部 **勤務先**▶(株)愛媛建築住宅センター

ひとこと

初めての広報委員となります。いしづちを通じて皆さまのより良い情報をお
届けできるよう、そして建築士の地位向上を目指し頑張りたいと思います。
よろしくお願いいたします。



花岡 晶子

支 部▶松山支部 **勤務先**▶(株)花岡直樹建築事務所

ひとこと

皆様にお届けする「いしづち」の編集を担当させていただくことになりま
した。初めての委員会です不安もありますが、多くの方を繋ぐ情報誌となるよ
う活動に励みたいと思います。よろしくお願いいたします。



あなたの原稿をお待ちしています。

公益社団法人として、広く異業種や全ての皆様から建築士会の枠を超えて原稿を広く募集して広く購買して頂くようにしています。是非、寄稿して頂きますようお願い致します。本年度は年6回発行となります。(尚、営業的色彩の濃いものにつきましては、掲載されない場合もありますので、ご了承ください。)

「いしづち」の本年度の原稿締切日

令和2年 9月号 (136号) 令和2年7月30日(木)

※校正印刷の関係で締切延長の最終期限は一週間後の木曜日とします。

※1ページ写真込みで2150文字(25文字×43行×横2段)のWORD様式を事務局で用意していますのでご活用ください。

また宜しければ3枚程度まで題名を添付してください。

会員の皆様の後参加をお待ちしております。また記事等についてのご意見・ご感想もお寄せください。

(尚、投稿された原稿につきましては、要旨を変えない程度の若干の訂正等を加えることがあるかもしれませんので予めご了承ください。)

この誌面を通じて、会員の方々、そして一般の方々にまで、建築についての対話等の輪が広がればと願っています。 情報・広報委員会

読者の声欄

「いしづちに」に関するご意見・ご提案などをお寄せください。お待ちしております。

「いしづち」編集委員会(土会事務局内)宛
FAX 089-948-0061

編集後記

この情報・広報委員会の委員長を拝命して一期二年が経ちました。アツという間の二年間で、委員会で話し合った事をカタチに出来ておらず心残りであったところ、二期目の委員長も拝命のお声を頂き嬉しく思いました。ありがとうございます。

また、本号から新広報委員紹介で紹介いたしました新しい委員4名を迎え、任期の二年間も委員と一丸となり頑張っていきたいと思えます。

宜しくお願い致します。

〈いしづち〉2020/7

令和2年7月発行

発行人 会長 赤根良忠

発行所 公益社団法人 愛媛県建築士会

〒790-0002 松山市二番町四丁目1-5 愛媛県建築士会館2F

TEL(089)945-6100 FAX(089)948-0061

http://www.ehime-shikai.com E-mail:@ehime-shikai.com

印刷所 アマノ印刷有限会社

情報・広報委員会・広報委員

委員長/大平 将司 副委員長/渡邊 道彦

編集委員/赤松 慶隆 門屋 広一 成松弘之助 西森 勉 花岡 晶子